



消防大学校だより

消防研修第107号（特集：消防団）の発行

消防大学校では、消防本部等における消防防災体制の強化のための知識・技術の向上に資するために、「消防研修」を昭和40年（1965年）10月に創刊、毎年2回発行し、各都道府県、消防学校、消防本部等に配布しています。消防研修第107号では、「消防団」をテーマに特集しました。

消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。また、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重

要な役割を担います。

そこで今回の消防研修では、「消防団」を特集テーマとして、東日本大震災後の消防団のあり方や役割の変化、消防団や消防団員の現状や今後の課題などを掲載しました。

消防研修最新号は、消防大学校ホームページにも掲載しています。

消防研修第107号（特集：消防団）の主な掲載内容

- 地域防災における消防団の課題と啓発について
山口大学大学院創成科学研究科
消防大学校客員教授 瀧本 浩一
- 未来を守る消防団
～共に支える新時代の消防団活動を考える～
消防大学校客員教授
赤羽消防団副団長 小澤 浩子
- 消防団
公益財団法人日本消防協会理事長 三輪 和夫
- 『消防団の現状と充実強化施策』
消防庁国民保護・防災部地域防災室
- e-ラーニングシステムを活用した消防団教育について
東京消防庁消防学校校務課教育係長 出口 雅一
- 消防団への加入促進に向けた豊橋市消防団の取り組み
豊橋市消防団長 松下 直弘
- 「西原村消防団 熊本地震における活動報告」
熊本県西原村消防団団長 小城 保弘
- 防災における女性の参画
～必要とされる人に～
鹿児島県薩摩川内市消防団副団長 宮里 英子

問合わせ先

消防大学校調査研究部
TEL: 0422-46-1713



消防大学校だより

令和2年度 消防大学校 客員教授について

消防大学校では、客員教授制度により、消防に関し特に優れた知識及び経験を有し消防大学校における教育等に対して顕著な協力をいただける方に対し、客員教授の称号を授与しています。

この度、令和2年度の客員教授名簿を作成しましたので、教育訓練等の講師選定の参考として紹介します。

※ 客員教授の連絡先については、消防大学校担当者までお問い合わせください。

※ 客員教授への講師依頼等の事務については、依頼元(各地域の消防学校等)が直接行い、これに係る費用は、依頼元において御負担ください。

専門分野	氏名	所属・職名
(1) 教育技法	山崎 洋史	昭和女子大学大学院 心理学専攻教授 総合教育センター長
(2) 人材育成	小島 晴夫	元さいたま市消防局長
(3) 組織管理	新井 雄治	元東京消防庁消防總監
(4) 消防実務法規	秋山 恵	元東京消防庁理事兼総務部長
(5) 予防法令運用	荒井 伸幸	元東京消防庁理事兼総務部長
(6) 予防政策	有賀 雄一郎	日本消防検定協会監事
(7) 地域防災	瀧本 浩一	山口大学大学院創成科学研究科准教授
(8) 接遇、話し方技法、女性消防団活動	小澤 浩子	赤羽消防団 副団長
(9) 防災図上訓練	日野 宗門	Blog防災・危機管理トレーニング 主宰
(10) 危機管理	大庭 誠司	元消防庁次長

問い合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712